

令和8年度 障害学生支援実務者育成研修会
[基礎プログラム・事前課題]

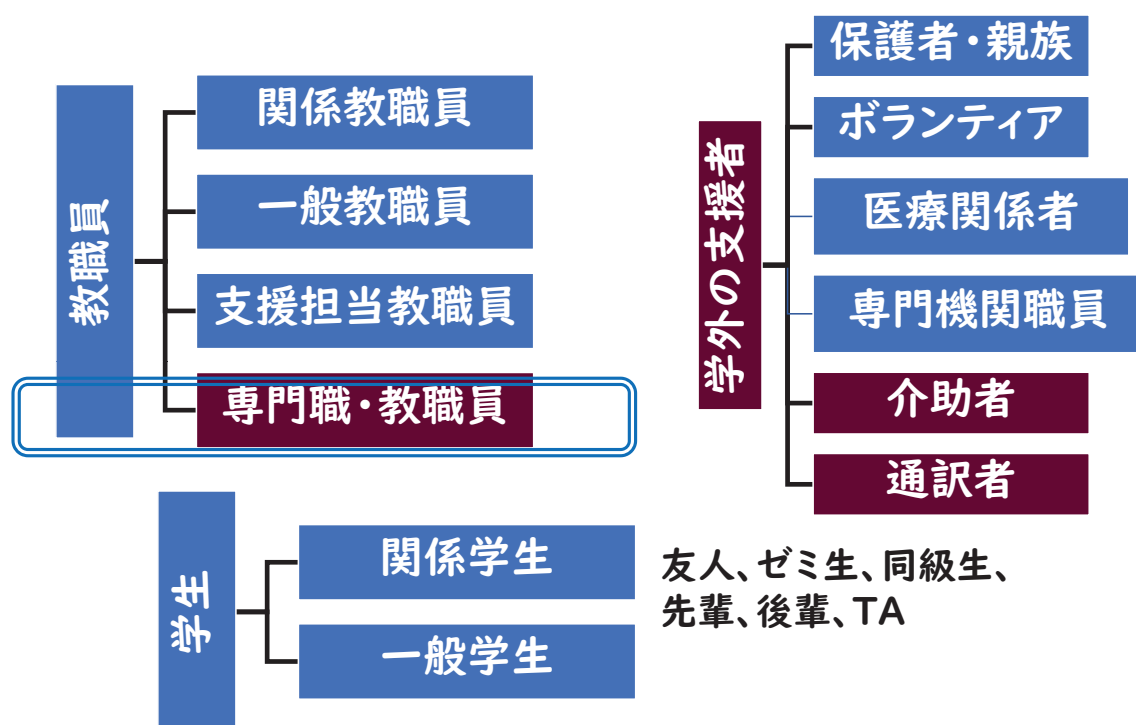
支援者の育成

山本 幹雄

(広島大学 D&I推進機構 アクセシビリティセンター)

1. 障害学生修学支援における 支援者

高等教育機関における支援者



日常的な支援者 と 特別な支援者

日常的な
支援者

関係教職員……一般教職員
指導教員・チューター・担任…
家族・関係学生……一般学生

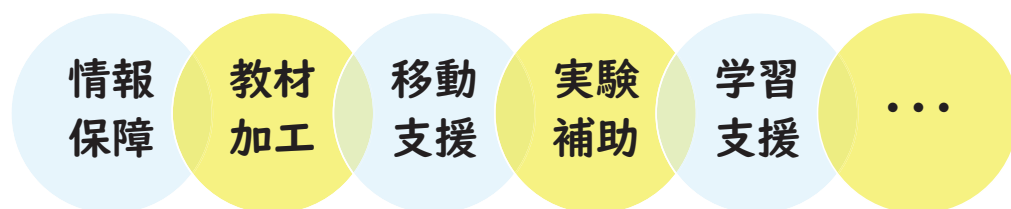
特別な支
援者

支援担当教職員・専門職教職員
TA・SA・RA・メンター…
介助者・通訳者・翻訳者…

特別な支援者の確保が必要なケース

関係教職員や周囲の学生による合理的配慮の範疇では対応が困難な支援

- 本来の業務又は学習と同時に行うことが困難※
- 特別な支援スキルを要する
- 特別な知識・経験を要する。
- 過重な時間的・体力的負担を要する。
- 支援対象学生との関係性上の制約がある。

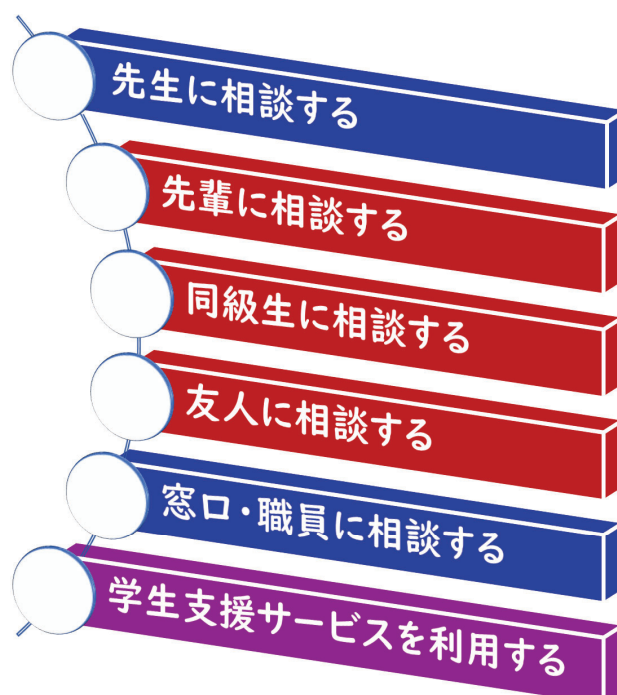


特別な支援者の例：メンター・ピアサポーター

障害のある学生の
体験・情報障壁

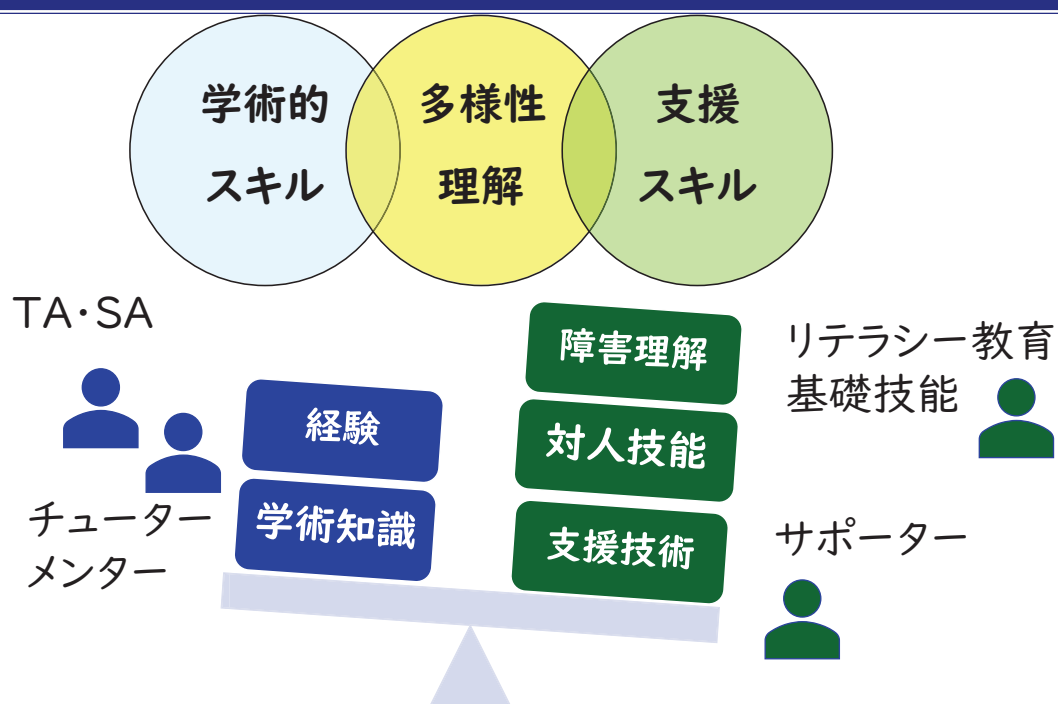
他の学生との比較において

- 情報リソース
 - 体験リソース
- が不足している可能性がある。



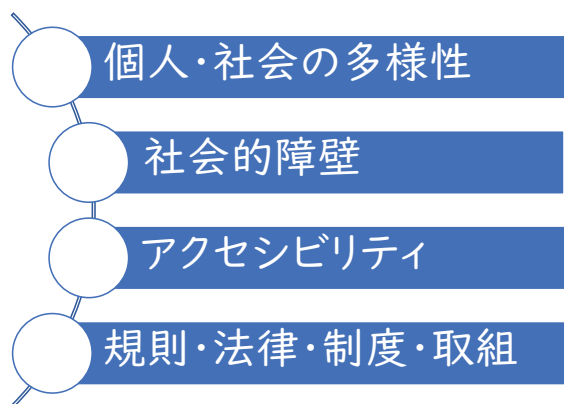
2. 支援者の育成

特別な支援者に求められるスキル



基盤的育成：学生・教職員のリテラシー向上

基礎的な多様性対応リテラシー

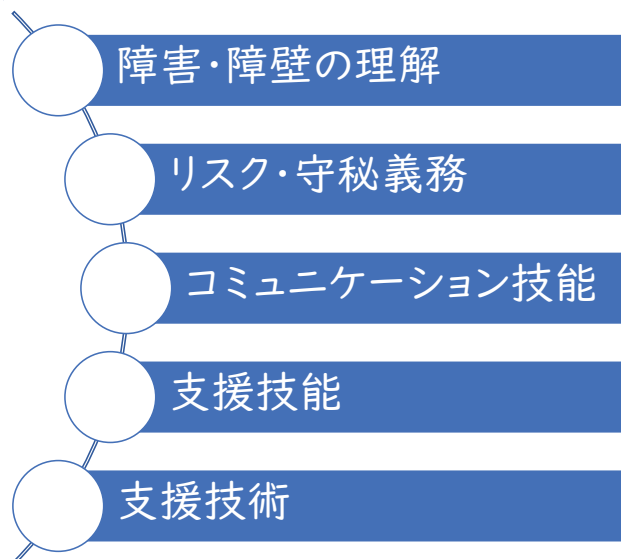


学びの機会

- ガイドライン（学生・教職員）
- 新入生必修科目（学生）
- 必修新採用研修（教職員）
- オンライン講座（学生・教職員）
- 講習会・研修会（学生・教職員）
- 選択科目（学生）
- 職員研修（教職員）

取組例（広島大学）：大学教育入門（90分）、情報データ科学入門（90分）、新採用研修（45分）、アクセシビリティ研修（180分）、オンラインアクセシビリティ講座（10.5時間相当）

実践技能（支援スキル）の養成



- 研修
- 講習会
- 講座
- 実習
- … ○○認定

運営

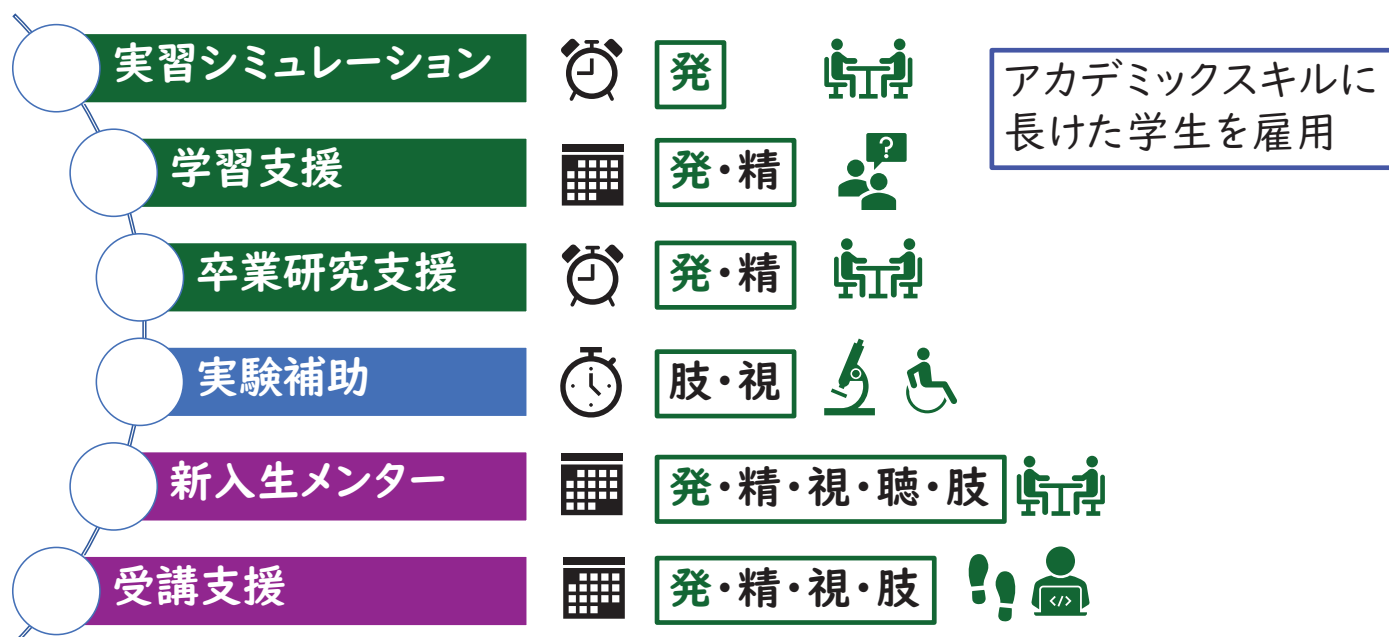
- 講師・指導を委託する。
- 講師・指導員を育成する。
- 講師・指導員を雇用する

臨時／非常勤・・・
オンデマンド／リモート

**受講のインセンティブに加えて、
受講後のモチベーション維持も重要**

例) 学生チューターによる支援例 (広島大学)

先輩学生 → 推薦 → 許諾 → 事前指導 → 採用(有給) → ケア・調整



アクセシビリティリーダー育成プログラム と AL 育成協議会

アクセシビリティリーダー (AL) の育成

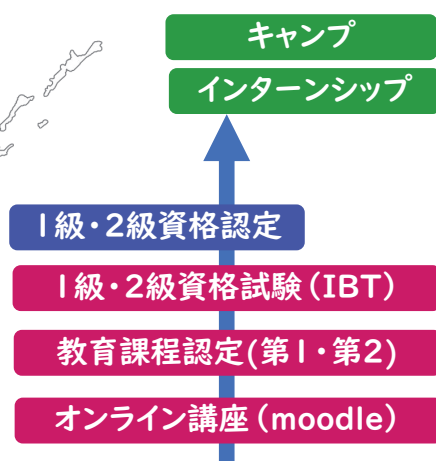
個人や社会の多様性をよく理解し、アクセシビリティの
推進により可能性を開拓する人材

● 広島大学 (幹事・事務局)

● 日本学生支援機構 (幹事)

茨城大学、東京工業大学、東京農業大学、
長岡技術科学大学、信州大学、富山大学、三重大学、
京都文教大学、京都外国語大学、京都工芸繊維大学、
大阪教育大学、大阪大学、関西学院大学、神戸大学、
徳島大学、香川大学、高松大学、鳥取大学、
岡山大学、広島文教大学、広島修道大学、
広島国際大学、山口大学、九州大学、
福岡県立大学、長崎大学、
宮崎大学、琉球大学

2026年4月現在の会員
29大学※1独立行政法人



AL 育成協議会
<https://al-pc.jp/web>



資格取得後のモチベーション：実践の場の担保（広島大学）

<学内インターンシップ>・・・1級資格取得者

- アクセシビリティセンターの技術補佐員として雇用（週2時間～）
- 高度な支援／バックヤード業務／支援者の育成／その他の補佐

<地域インターンシップ>・・・1級・2級資格取得者

- 地域からの要請により、アクセシビリティセンターから派遣
- 東広島市障害児余暇活動支援事業／広島大学附属病院・高校生を対象とした院内学級／小学校の特別支援学級の補佐



支援者の育成（まとめ）

まとめ

1. 支援者需要には揺らぎがある。
2. アカデミックスキルと支援スキル・・・双方向で
3. 基盤的育成（リテラシー教育）・・・基礎的理解 → 理解者が増える
4. 実践技能の育成（講習・講座・研修・実習・・・）
5. 計画的育成
 - 受講のインセンティブ（単位、知識、経験、資格・・・）
 - 受講後のモチベーション（実践経験、資格・・・）
 - 外部講師・指導者育成・オンライン・オンデマンド・・・
6. 実践の場の提供
 - 学内支援／インターンシップ／地域連携／学校間連携・・・